|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2021第1,2,3 RUTC答えの現場(48)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2021年12月18 ～ 19日　週間祈りカード | | |
| △産業宣教  なぜ逃れられないのか(出　3：18－20) | △伝道学  伝道の始まりは崩れた私を起こすことである(マタ　4：19) | △Remnant　Day（核心）  1月学院福音化－サミットタイム（Summit Time） |
| 福音を本当に理解する前までは、周りの人のために難しいと考えると90%葛藤、10%忍耐で生きるようになる。福音を本当に悟れば、神様の計画が発見できると90%感謝、10%申し訳ない中で生きるようになる。この部分ができなければ始まりが正確でないのだ。私たちの霊的知能は、小さい答えに喜んで小さい問題がくれば苦しがる霊的知能だ。  □序論\_葛藤(Conflict)、傷(Scar)刻印  1.刻印(Imprint)されたとおり答え(Answer)を受ける。  2.根(Root)がおりれば実(Fruit)を結ぶ。  3.体質(Nature)は変えることはできない運命(Destination)になる。  □本論\_ In His Steps  (「神様ならどのようにされるか」と質問しなさい)  「なぜ(Why)」 -なぜここ(葛藤、傷の刻印、根、体質)から抜け出すことができないのか  1.答えられたこと(Answer)のため-答えの有無に基準を置いてはいけない。救いで感謝すべきだ。  1)出3:18-20出エジプトの奇跡のために興奮して血のいけにえを忘却  出14:9-13紅海が分かれたことで喜んで  2)ヨシ3:1-13、6:1-20、10:10-14、14:6-15多くのみわざのゆえに  3)Iサム17:1-47(ゴリヤテに勝ったこと)、ダニ3:8-24(バビロン王の前での勝利)、ダニ6:10-20(獅子の穴でも生き残ったこと)、マタ8:17(病気がいやされたこと)こういうことが答えだと思う。  2.動機(Motive)のために-ここから逃れれば神様のこと(神様の計画)を見るようになる。  1)私(Me) -私中心に説教を聞いて、私中心に考え、判断→サタンの攻撃対象  2)私のこと(Mine) 3)私たちの(We)、私たちのもの(Our)  3.未来(Future)に対する錯覚  1)マタ24:1-14最後の時わざわい→福音がすべてに宣べ伝えられてこそ終わりがくる。  2)Ⅱテモ3:1-13終わりのときは苦しみの時→神様愛x、自分だけ愛、サタンに捕えられたこと  3)黙示12:1-9大きい混乱が来ること  △ここで救われたというのは途方もないこと。それゆえ、いのちをかけて献身して、献金して福音を伝えること  □結論\_来年には本当のことをしよう  1.みことば(Words) -牧師とみことばを生かす方向  2.現場(Field) -重職者と現場を生かす方向  3.次世代(Next Generation) -Remnantと副教役者を生かさなければならない理由  △明日礼拝をささげに行くとき、なにも考えずに走って行くほどみことば握ってこそ時代を生かす。 | 伝道の始まりは、私から始まらなければならない。問題の始まりも私から、失敗の始まりもエデンの園の私からきたので伝道の始まりもそうだ。  □序論\_来年の方向  1.火曜集会－新しく編集した教材を持って初めからのことを生かしながら未来のことを見ようとする。  2.区域メッセージ－三つの答え(牧師と講壇中心、重職者と現場中心、Remnantと世界・未来中心)  3.2022年主題－24(使1:3 40日間神の国のこと)、答えは25になること  □本論\_伝道の始まり  1.マタ4:19 「わたしについてきなさい」  1)ついてきなさい(J-X) -イエス・キリストについて行きなさい。  2)漁師(神様から与えられたタラントをもってすること)  3)ガリラヤ(すべての人を生かすことができる所)  2.マタ11:28-30  1)疲れた重荷を解決してくるのではなく「そのまま持ってきなさい」  2)わたしがあなたがたを休ませてあげます  3)別のこと(やさしいこと)を与える。  3.マコ3:13-15  1)お望みになる者を呼ばれた。  2)ともにいるために、また、伝道もしながら  3)悪霊を追い出す権威－全世界はここに捕えられているので、これを味わうことが伝道の始まり  4.ヨハ19:30 「完了した」  1)のろい、わざわい、地獄の権威(終わり)  2)すべての罰をみな解決-信じなければならない  3)サタンの権威を完全に砕いてしまった。  5.使1:1-8最後に完成されたみことば  1) Trinity -三位一体の神様の奥義  2)御国(こと)-神の国とそのこと  3)力(証人) -地の果てまで行くように力を与えて証人となること  □結論\_堅く握って行くこと三つ  1.契約　　2.信仰　　3.未来 | □序論\_サミットタイム(Summit Time)   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 朝(Morning) | 昼(Day Time) | 夜(Night) | | 確認(Check) | 変える時間(Change) | 確定(Confirm) | | 三位一体(Trinity) | 御座(Throne 9) | 3時代  (Special,Disciple,Global) | | 考え(Think) | 見ること(See) | 整理(Words) | | 5力(Power) | 御国(Kingdom of God) | いやし-力(Healing-Summit) |   1.朝－重要なことを確認する時間。三位一体の神様が思い出すことに臨まれるように祈り→5力  2.昼－すべての見ることを神様の考えに変える時間。このとき、御座の祝福9つがセッティングされる。すべての見ることを変えるとき、神の国とそのことの答えがくる。  3.夜－みな終わって一人でいるときに確定する時間。このとき、3時代(専門化、弟子化、世界化)が見える。みことばを整理するとき、すばらしいいやし、力が現れる。  △Breathing Prayer(呼吸する祈り) －脳をとても生かす祈りであってこそ、瞑想団体を生かすことができる。  □本論\_サミットタイムになるようにフォーラムしなさい。すると、時間がたつほど神様の計画が見える。  1 Gen.1:27(創1:27)私たちの中に植えられた神のかたちを生かすこと  RT7－創41:38(ヨセフ)、出3:1-20(モーセ)、Iサム3:19(サムエル)、Iサム16:13(ダビデ)、Ⅱ列2:9-11(エリシャ)、ダニ1:8-9(ダニエル)、使1:1、3、8(初代教会)  △フォーラムする時間、礼拝をささげるとき、創1:27が私に臨む時間だ  2 Gen.37:1-11(創37:1-11)ヨセフがこれを幼いときにあらかじめ知ってあかしした  CVDIP－みなさんの時にCVDIPを確定しなさい。担任牧師に尋ねれば良い  3 Ex.2:1-10(出2:1-10)モーセはこの上(サミットタイム)の祝福を幼いときに聞いた  福音(Gospel) －幼いとき、完全に福音が刻印されたモーセ→用いられるしかないタイムがくる。  4 Jos.1:1-9(ヨシ 1:1-9)ヨシュアはモーセを通して、この三つの祝福(サミットタイム)を見た  1) Fear － 「恐れてはならない」  2) WITH ―「わたしがあなたとともにいる」  3) Moses-「モーセとともにいたように」わたしがあなたとともにいる  5 Jos.2:1-16(ヨシ 2:1-16)ラハブはうわさだけ聞いたが働きが起きた。  1)うわさ(Good News)だけ聞いて悟ったラハブ  2)重要な情報(Information)を伝達したラハブ  3)マタ1:1-17イエス様の系図に入ったラハブ  □結論\_小さいこと(Small)をMASTERPIECE(作品)に作りなさい。  △文章だけ残してもかまわない。それを集めなさい。契約の中にいれば良い。 |
| 2021第1,2,3 RUTC答えの現場(48  )(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2021年12月18 ～ 19日　週間祈りカード | | |
| 聖日1部礼拝  正しい人はその信仰によって生きる (ハバ2:1−4) | Remnant礼拝  異なる力 (ゼカ4:6) | 聖日2部礼拝 /一般信徒宣教献身礼拝  建築献金の基準 (マラ3:1−12) |
| 肉体の目、知識の目が暗くなるよりさらに恐ろしいのが霊的な目が暗くなること。霊的な目が暗くなれば完全に滅亡  □序論\_礼拝をささげるたびに、この霊的な目を開いて、いつでも正確な答えを受けるべき。  今日、受ける答えは237か国を非対面で対面すること。これが分からなければ事業、学業、産業もこれから、門を閉めなければならず、宣教は不可能。それゆえ、今日の本文は237にならないイスラエルが237になったエジプトに攻撃された。さらに恐ろしいのはサタンが237をしている。それでエジプトを掌握して、エジプトは世界を捕らえた。ここにイスラエルが捕われて行ったこと  □本論\_時代におきることを見てメッセージを正確に握るべき。神様が私たちを見張り所に立ててみことばを与えられた(ハバ2:1)。この目を開いて、どのようにこの問題を解決することができるのか。  1.間違ったことから逃れて正確な契約を握りなさい。  1)板に刻みなさいということは、永遠になくならない神様のみことばを私の心の板に刻みなさいということ  2) 237をのがして、みことばと合わないで、ご飯も食べられない信徒とエジプトに苦しめられるイスラエル－そのようにしても、みことばは成就する。それゆえ、237か国を生かす非対面を対面化することに答えを受けるべき  3)本当に正確な契約を握れば道が開かれる。契約を握らないと開かれない-各自、自分の考えが正しいと考える。しかし、神様の永遠のみことばだけが答え  2.永遠のみことばが今日の答えになる、それが契約－正しい人はその信仰によって生きる。  1)暗やみから出て、この光の契約、福音を堅く握りなさいという意味－これだけが237を生かすことができるのに  2)正しい人というのは、福音を持った者、救われた者-ただキリストの他に他のもので家庭、次世代、産業を倒して、237世界福音化を邪魔する暗やみの勢力を砕くことはできない。簡単な答えは光であればできる  3)走って行きながらも読めるようにするということは、常に、いつでも見るようにしなさいということ  3.より重要なことは、過去から逃れて未来を握りなさい。それが待つということで準備  1)ハバ2:4引用したパウロ(ロマ1:16-17)  2)私たちの未来の保証は福音のいのちのみことば  3)ハバ2:4引用したマルティン・ルター－全世界の暗やみと霊的混乱が消え始めた  □結論\_ 237非対面を対面化させる始まりが祈り。なぜか。  1.私と産業と学業が神様が働かれるプラットフォーム(platform)となるため  2.私の産業の中に9つの御座の祝福がWatch Towerとして現れるため  3.237か国生かすアンテナ(antenna)になるため  →これ以降に光の経済、光の学問が入ってき始める。この契約を堅く握って24、神殿建築24すべき | 創1:3、1:27、2:7、2:17-18、エゼ37:1-10、ヨハ20:22、使1:3、使1:8  使1:8 －ゼカ4:6  □序論\_バビロンで帰ってきたのに問題はずっとくる(1次で帰ってきた人がゼカリヤ)  1.理由を分からない人々-バビロンに行く前にも、出てきてもサタンの捕虜  2.私も分からない人々(創3章、6章、11章) -サタンに捕えられた私だけ考えること、世の中の良いことがネフィリムに、成功しなければならないことがバベルの塔に  3.世の中を分からない人々-世の中の国は暗やみの国になっている(ヨハ8:44)  △福音を伝えなければならない理由を分かるならば必ず答えがくる。イスラエルが苦しみの中にいたとき、神様から与えられたみことばは権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって」と言われる。  □本論\_Remnantが受ける答え  1.本来のことを回復しなさい(世の中と学校で教えられないこと)  1)創3:15福音がサタンの権威を打ち破る奥義を知るべき  2)創6:14わざわいで多くの人が死ぬとき、箱舟の中にいれば生きるということを知るべき  3)創12:1-3 「あなたは神様が示す地に行きなさい」(5つの祝福回復)  4)出3:18-20血のいけにえ「力ある御手であなたとともに」  5)イザヤ7:14インマヌエルの祝福を回復しなさい。福音回復  2.わざわい止めることを回復しなさい(7わざわい陥ったときRemnantだけができること)  1)創41:38エジプトがわざわいである時ヨセフは神の霊の宿る者  2)出5:1-12:46エジプトの10の偶像のわざわいを止める奇跡  3)Iサム3:1-18幼い時この経験をしたサムエルはミツパ運動の答えを受けた。  4)Iサム16:13、23ダビデが幼いとき、主の霊が激しく下って悪霊が追い出された。  5)Ⅱ列2:9-11理由を分かるエリシャが霊の二つの分け前を求めた。  6)ダニ1:8-9これを分かるダニエルは心を定めた。  7)未来をおいてカルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間をパウロがRemnantに伝達したとき、ローマが征服された。  3.未来を回復しなさい。  1) 3団体を通してネフィリム活動が次世代を掌握  2)先進国のネフィリム文化が次世代掌握  3)ネフィリム時代-精神病、麻薬、個人主義の病気が来る  □結論  1.朝には思い出す全てのことと私に三位一体の神様の霊が臨むように  2.昼には御座の祝福9つが私と世の中に臨むように  3.夜にはみことばを整理および時代を生かす3段階が私に臨んで伝えられるように  △このようにすれば、24、25、永遠という作品がくる。RemnantはRemnantタイムを持ちなさい。サミットタイムを持ちなさい。 | |  |  |  | | --- | --- | --- | | 1,3,8 | 14 | 24,25,永遠 | | 3(三位一体神様),  9セッティング、3時代 | 集中  (使2:1 5つ時刻表) |   △神殿建築が伝道、宣教の最も基本になる。ここで基準が何か。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 光の経済 | 神殿経済 | 237、いやし、サミットの経済 |   □序論  1.方向-祈る方向が重要  1)偶像国家は神殿を作ってすべてのことをしている  2) 3団体は神殿作って資料を配置する  3)多民族をいやし、サミットとなるように準備することがまず最初  △237か国が非対面なのに対面化する作業が最も鍵(key)だ。  2.十分の一献金  1)民18:21レビ族は主の働きだけをする。土地を与えない  2)申26:12何の力もないやもめとみなしごを助けなさい。  3)申12:11、14:23 「主が、御名を住まわせるために選ぶ場所」すなわち、神殿に十分の一献金を出して世界を生かすように  3.答えから与えられる理由  1)サタンはバベルの塔を作って世界を動かそうとしたが失敗  2)暗やみの勢力は偶像神殿を作って全世界が観光している。  3)フリーメイソンは全世界のあちこちに神殿を作って人々を惑わしている。  □本論  1.世界征服－イスラエルは世界征服をどのようにしたのか  1)礼拝－神様の民が一番たくさんしたのが礼拝であるが知識世界を掌握した。  2)献金－ユダヤ人が最もたくさんしたのが献金であるが経済を掌握した  3)祈り－ユダヤ人は祈りを一番たくさんする民であるが文化を掌握した。  2.神殿建築-最高の宣教だ。  1)幕屋－神様はなぜ幕屋を準備させたのか  2)ダビデの神殿準備－神様は最高に祈りをたくさんしたダビデに神殿準備をさせた。  3)三つの庭－異邦人の庭、祈りの庭、子どもたちの庭、この三つが237、いやし、サミットだ。  3.未来の基準－ 10の9献金をささげる祝福を受けなければならない。  1)使2:43-45初代教会は10の9献金をささげた。  2)使4:32-37バルナバは自分の財産10の9献金をささげた。これが暗やみ経済を崩す  3)ロマ16:3-4、23プリスカ夫婦とガイオは10の9献金をささげた。  □結論\_Remnantをどの程度、力を育てて送らなければならないのか  △Remnantは70地域を掌握しなさい。Remnantの事業に70か所弟子をたてなければならない。  △ルカ10:10-20、使1:14、使11:19 |